

CSR Report 2015

ダイジェスト版



株式会社 **ダスキン**

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

TEL.06-6387-3411 (代表)

www.duskin.co.jp



目次

- 02 会社概要、このレポートについて
- 04 事業紹介
- 06 トップメッセージ
- 08 CSRビジョン
- 10 長期ビジョン「ONE DUSKIN」と中期経営方針2015
- 12 **特集1** | ダスキンの安全・安心・品質の取り組み
お客様の声を活かすために
- 14 **特集2** | ダスキンの人材育成の取り組み
技に心がともなった人材を育てるために
- 16 **特集3** | ダスキンの環境の取り組み
地球温暖化防止のために
- 18 **特集4** | ダスキンの地域・社会貢献の取り組み
掃除の力で子どもの力を伸ばすために
- 20 コーポレートガバナンス
- 22 安全・安心・品質
- 23 人材
- 24 環境
- 26 地域・社会貢献

特集1 安全・安心・品質



特集2 人材育成



特集3 環境



特集4 地域・社会貢献

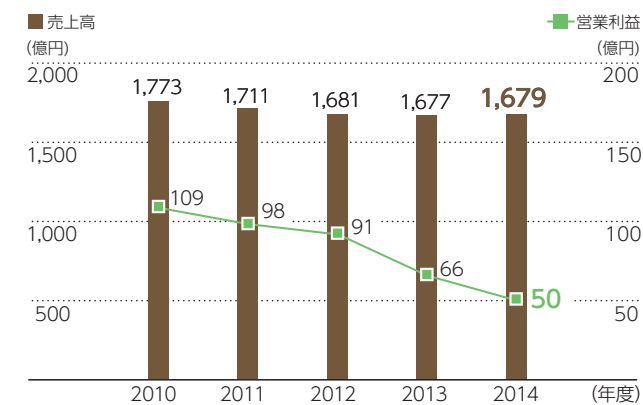


会社概要

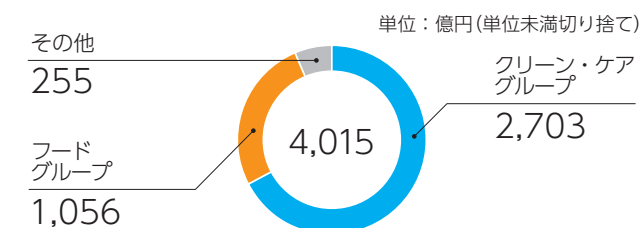
社名(商号)	株式会社ダスキン 【DUSKIN CO., LTD.】
本社	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号
代表者	代表取締役社長 山村 輝治
設立	1963(昭和38)年2月4日
資本金	113億円(2015年3月31日現在)
連結売上高	1,679億円(2015年3月期)
連結営業利益	50億円(2015年3月期)
全国チェーン店 お客様売上高*	4,015億円(2015年3月期)
従業員数	1,928人(2015年3月31日現在)単体 3,487人(2015年3月31日現在)連結
関係会社数	全33社(2015年3月31日現在)

*全国チェーン店お客様売上高は、国内外の直営店・子会社売上高および加盟店推定売上高の合計を参考数値として記載しています。

▶ 連結売上高・営業利益の推移 単位：億円(単位未満切り捨て)



▶ 2015年3月期 全国チェーン店お客様売上高構成比



このレポートについて

■ 編集方針

CSR Reportは、持続可能な社会の実現に向けたダスキンの考え方と取り組みを、ステークホルダーの皆様によりわかりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

CSR Report 2015では、4つの重点活動「安全・安心・品質」、「人材」、「環境」、「地域・社会貢献」のテーマごとに社員が登場し、事業活動を通じた日々のCSRの取り組みを特集として紹介しています。

今後もステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図り、適切で透明性の高い情報開示に努めていきます。本レポートをお読みいただき、皆様の忌憚のないご意見をお聞かせください。

■ 対象期間

2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)を主な対象としていますが、2013年度以前および2015年度の活動についても一部掲載しています。

■ 対象範囲

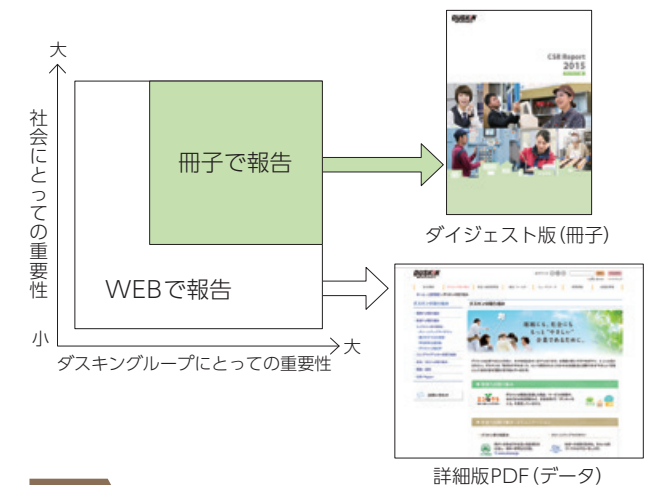
株式会社ダスキン、国内の関係会社および加盟店までを報告対象範囲としています。その内、株式会社ダスキンおよび子会社(連結対象)の取り組みは「企業集団」、企業集団および関連会社(持分法対象)の取り組みは「グループ」、グループおよび加盟店、協栄工場等の取り組みは「グループおよび加盟店等」として紹介しています。

■ 発行時期

2015年6月(次回発行予定：2016年6月)

■ CSR Reportの構成(報告メディアの考え方)

冊子は、特に社会やダスキングループが大切に考えている取り組みを中心に、読みやすさ、わかりやすさに配慮して編集しています。WEBサイトは、冊子の情報に加え、詳細なデータや取り組みを掲載した詳細版PDFとし、より幅広いステークホルダーの皆様に向けて充実した情報開示に努めています。



WEB

www.duskin.co.jp/torikumi/csr/report/index.html

■ 参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン2012年版」

GRI「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第4版」

CLEAN & CARE GROUP

クリーン・ケアグループ

ダストコントロール **DUSKIN**

清掃・衛生用品のレンタル&販売

創業時からダスキンの中心事業として手がけている清掃・衛生用具のレンタル&販売。ご家庭へ、事業所へ、時代に応じた“キレイ”をトータルにご提案するために、お困りごとの解決だけでなく、新しいおそうじスタイルを発信しています。



ドリンクサービス

ドリンク関連商品のレンタルと販売

100%天然水のナチュラルミネラルウォーターやコーヒーなどの定期お届けサービス。



ホームインステッド **Home Instead SENIOR CARE**

ご高齢者の暮らしのお手伝い

ちょっとしたお困りごとから家事・介護・認知症ケアサービスを提供。



*公的介護保険適用外のサービスです。

サービスマスター **ServiceMASTER**

プロのお掃除サービス

プロならではの高度なクリーニング技術で、ご家庭、オフィス・店舗の汚れをキレイに解決。



ターミニックス **TERMINIX**

害虫獣の駆除・予防管理

薬剤の使用を抑えた安心のシステムで、シロアリ、ゴキブリ、ネズミなどの害虫獣を駆除・予防管理。



レントオール **RENT-ALL**

イベント用品や日用品などのレンタル
イベント用品レンタル・設営・運営のお手伝いやベビー・トラベル用品などのレンタルサービス。



ヘルスレント **Health Rent**

介護用品・福祉用具のレンタルと販売

車いすや介護用ベッドなど約3,500点のレンタル商品をご用意。



*介護保険対象の福祉用具、介護用品は除く

メリーメイド **merry maids**

便利な家事代行サービス

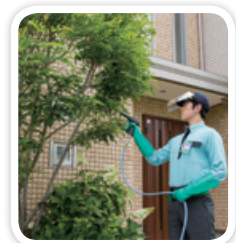
ご家庭ごとのご要望や状況に合わせて、気配りとしていねいさで定期的に家事を代行。



トゥルグリーン **TRUGREEN**

庭木のお手入れサービス

優れた植栽のメンテナンス技術によって、緑豊かな環境を年間を通して維持・管理。



ヘルス&ビューティ

自然派化粧品と健康食品の販売

心もからだも健康で、いきいきと美しい毎日をサポート。



ユニフォームサービス

ユニフォームのリース・販売とクリーニング

清潔で着心地の良いユニフォームをお届けします。



FOOD GROUP

フードグループ

ミスタードーナツ **Mister Donut**

手づくりの
バラエティ豊かなドーナツ

お腹と一緒にここも満たしてくれる、手づくりドーナツ。
こだわりのおいしさに笑顔のおもてなしを添えて、子どもから大人まで、みんなに楽しいひとときをご提供しています。



カフェデュモンド **Café Du Monde**

カフェオレとベニエのカフェ

ニューオリンズが育んだ、おいしいひとときをお楽しみいただけます。



かつアンドかつ **かつ**

とんかつ専門レストラン

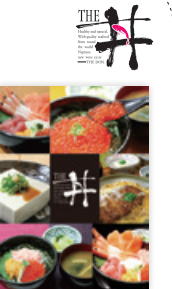
こだわりのおいしさをご家族で楽しめる豊富なメニューが魅力的なとんかつレストラン。



ザ・どん **THE 井**

新鮮食材にこだわるとんぶり専門店

ヘルシー＆ナチュラルで豊富なメニューが楽しめる和食のお店。



おひつ御膳 **四季五感**

三度楽しむ おひつ御膳

どのメニューも、そのまま、ひと味プラス、のだし茶漬けまでお楽しみいただけます。



MOSDO!

(モスド)

モスバーガーとの
コラボレーション

ドーナツとバーガーがセットで楽しめます。



*2015年7月リニューアルオープン

Bakery Factory **Bakery Factory**

(ベーカリーファクトリー)
いつも焼きたて
郊外型大型ベーカリー

「オリジナル低温熟成生地」や「自家製種」を使用した100種類以上のパンを提供。



THE Chiffon & Spoon **THE Chiffon & Spoon**

(ザ・シフォン&スプーン)
超しっとり食感の
シフォンケーキ

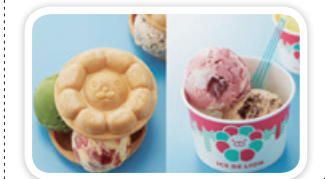
ふんわり超しっとり食感の、スプーンで食べるシフォンケーキ。



ICE DE LION **ICE DE LION**

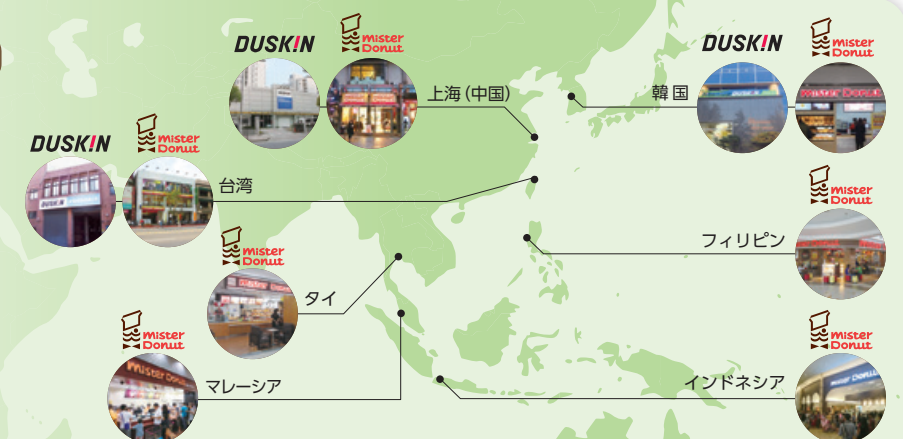
(アイス・デ・ライオン)
バラエティに富んだ
アイスクリームショップ

ゴロっとした具材感で見た目にも可愛い商品が楽しめます。



海外拠点

海外から導入した事業ノウハウにダスキンならではのやさしさやきめ細かさを加え日本流のサービスに醸成したビジネスモデルとして、アジア圏を中心に事業展開しています。



社会の期待に喜びをもってお応えし、 “世界一 ひとにやさしいダスキン”を目指します



株式会社ダスキン
代表取締役社長

山村 輝治

経営の根幹をなす“道と経済の合一”

当社は創業以来、社会や地域で暮らす人々に“喜びのタネ”をまくことで、世の中のお役に立ちたい、という創業者 鈴木清一の思いを継承してまいりました。この実践を意味する「道と経済の合一」は、当社が大切にしている理念であり、当社の経営の根幹をなす考え方です。

「道」とは「心」のことであり、人への「やさしさ」や「温かさ」、感謝の気持ちは、時代が変わっても変えてはならないものです。それに対して「経済」とは、企業としての成長であり、時代に合わせて積極的に変えていかなければならないものです。この理念は、本部だけでなく法人格が異なる加盟店も、同じ理念を共有する運命共同体である、という創業者の強い思いからくるものであり、ダスキンとしての事業活動に欠かせない心の拠り所となっています。

持続的な成長を目指して

わが国においては、少子高齢化や情報化、グローバル化など社会は急激に変化しています。そのような中、当社は長期ビジョン「ONE DUSKIN」を定め、その実現に向けた「中期経営方針2015」を策定しました。「ONE DUSKIN」とは、「ONLY ONE」(理念を共有するフランチャイズチェーン)、「NUMBER ONE」(信頼を積み重ねた地域ナンバーワンのフランチャイズ加盟店)、「ALL FOR ONE」(すべての事業・サービスが一つになってご要望にお応えする)を実現するものです。多様化するお客様のニーズにお応えする商品・サービス・仕組みを創造し、当社のすべての事業が一つになって、さらにお客様にホスピタリティあふれる対応ができる企業を目指します。

経営ビジョン

世界一 ひとにやさしいダスキンは、
新たな文化を創り出し、暮らしを豊かに、
笑顔あふれる社会を目指します。



すべての人が心豊かに暮らせる 社会づくりを

当社のCSRとは、「道と経済の合一」という理念そのものであり、優れた商品・サービスの提供を通じて、豊かな暮らし、笑顔あふれる地域社会の持続的な発展に貢献することです。長期ビジョン「ONE DUSKIN」を実現するために、CSR活動の重点テーマを、「安全・安心・品質」「人材」「環境」「地域・社会貢献」の4つに決めました。本部にとどまらず、加盟店も含めて社員一人ひとりのCSRに対する理解を深め、ダスキンとして、数値目標の設定も視野に入れて取り組んでまいります。

■安全・安心・品質

消費者・お客様に信頼される企業として、徹底した管理体制の構築・実践に取り組んでいます。まず安全で安心であるということを何よりも大切に商品開発を進めてまいります。良い点ばかりでなく、反省や教訓とすべき点も忘れずに、加盟店と本部で共有していこうと考えています。

■人材

サービスの基本は「人」と考え、教育や研修を通じて、お客様に愛される「人づくり」を進めています。良い商品を作ることが重要なのはもちろんですが、お客様と接する「人」がそれ以上に重要です。一生

懸命お客様のために活動し、そしてお客様に愛される。このような「人」の育成こそが、本部の責任と捉えています。

■環境

環境保全と企業経営の両立に全力で取り組みます。例えば、ダストコントロール商品を繰り返して使うために大量の水を使って洗濯をします。洗濯して汚れた水はコストをかけても、きれいにして自然に返す、ということを徹底しています。これら環境への負荷を軽減させる活動を真剣に取り組んでいきます。

■地域・社会貢献

お客様の暮らす街や地域でもっとお役に立つべく、さまざまな活動に取り組めます。加盟店で働く社員の多くは、その地域で生まれ育っており、地域の一員という意識を強く持って、それぞれの地域で積極的に地域・社会貢献活動をしています。また、本部としての社会貢献の取り組みも推進していきます。

私たちはこれからも、すべての人が心豊かに暮らせる社会づくりのお手伝いを続けていきます。そして、“世界一 ひとにやさしいダスキン”を目指し、CSR活動に取り組んでまいります。

【ダスキングループのCSR】

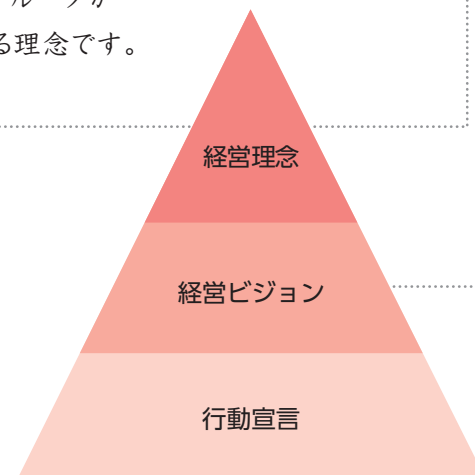
「社会からの期待に喜びをもって応えること」

人と環境と社会のつながりに心を配りながら、社会からの期待に謙虚に耳を傾け、喜びをもって応えること。
安全・安心で優れた商品・サービスの提供を通じて、豊かな暮らし、笑顔あふれる地域社会の持続的な発展に貢献すること。

経営の根幹

道と経済の合一

「道」とは「心」すなわち社会に向き合う姿勢。
「経済」とは企業としての成長。
「道と経済の合一」とは、企業として社会から求められる期待に喜びをもって応え、社会のお役に立ちながら持続的に成長することです。
創業以来、ダスキングループが経営の根幹としている理念です。



日々の行動の根底にある
社員一人ひとりが業務に向き合う姿勢

ダスキ悲願

謙遜 賢明 剛健の徳を養い
仕事の第一は人間を作ることであるように
働くことが楽しみであり
利益は喜びの取引から生まれますように
商いを通じて人と仲良くなり
経済をもって世界平和のお役に立ちますように
合掌

ダスキ一家の祈り

はかなきは金銭 たよりなきは地位
人の思惑も苦にせず ただひたむきに
ざんげの一路を歩み
己を捧げて報恩の托鉢を致します
合掌

祈りの経営ダスキ

一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです

自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと

他人に対しては
喜びのタネまきをすること

我も他も(わたしもあなたも)
物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)
生きがいのある世の中にする

合掌
ありがとうございました

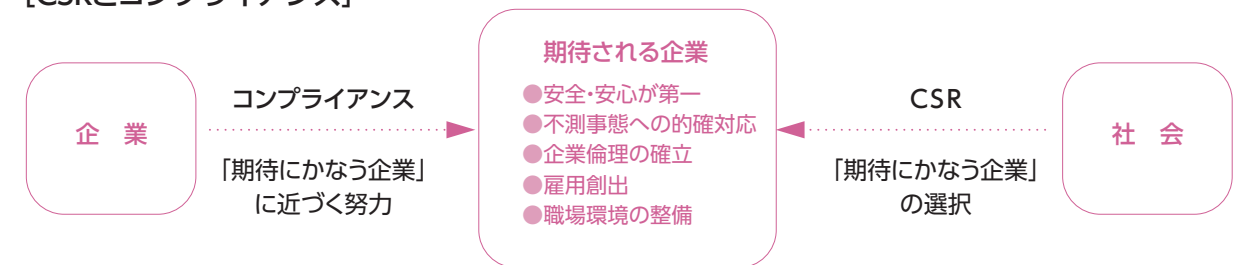
世界一 ひとにやさしいダスキ

新たな文化を創り出し、暮らしを豊かに、
笑顔あふれる社会を目指します。

「信頼される誠実な企業」を目指して

- 1 私たちは常に、お客様の立場に立って行動します。
▶お客様の視点
- 2 私たちは常に、法律を守って行動します。
▶社会・環境・地域社会の視点
- 3 私たちは常に、社会の良識にかなった行動をとります。
▶企業(ガバナンス)の視点
- 4 私たちは常に、自分に対して誇りを持てる行動をとります。
▶社員の視点

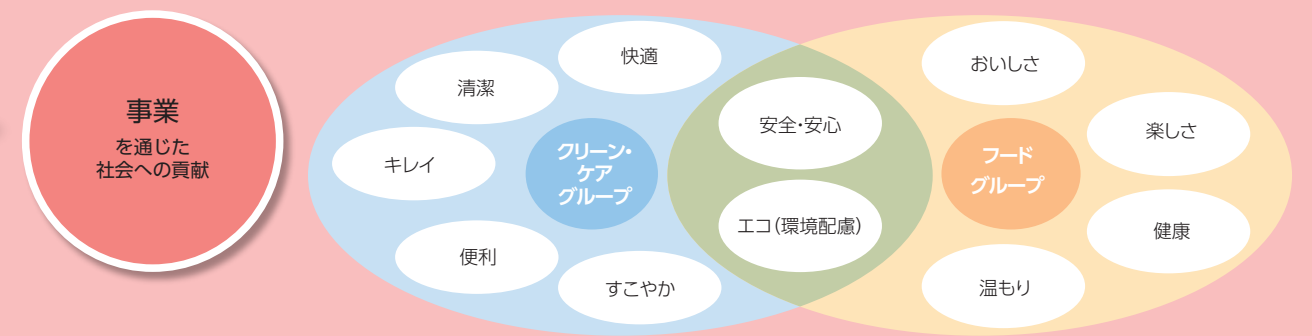
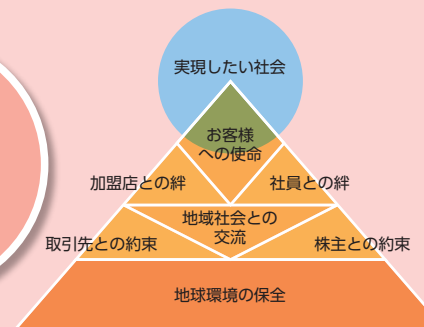
【CSRとコンプライアンス】



CSR指針

経営と一体になったCSR

ダスキは、フランチャイズという事業システムを起点に、世の中の人に喜ばれる「喜びのタネまき」を実践し、地域の人々と喜びを分かち合い、物も心も豊かな暮らしに貢献することで、継続的な企業価値の向上を実現します

ステークホルダー
に向き合う
姿勢

実現したい社会	新たな文化を創り出し、暮らしを豊かに、笑顔あふれる社会に
お客様への使命	世界中の誰よりも、お客様視点に立って、考え、形にする
加盟店との絆	同じ理念を共有し、行動する
社員との絆	互いに支えあい、挑戦し、成長できる
地域社会との交流	信頼を積み重ね、最も身近で頼りになる存在となり、地域社会と共生・共栄する
取引先との約束	適正で誠実な取引を通じて、強固なパートナーシップを構築する
株主との約束	コーポレートガバナンスの強化に努め、企業価値の(永続的な)向上を目指す
地球環境の保全	環境に配慮した事業を継続し、事業の成長と環境負荷低減を両立する

行動基準

グループ
社員
一人ひとりの
行動指針

消費者・お客様に対して
1.安全・安心で環境に配慮した商品・サービスの提供
2.お客様の個人情報守秘の徹底
3.適正な表示と説明
4.サービスフォロー体制の充実
5.適正な営業活動やサービスの提供
6.消費者・お客様の声を尊重
7.消費者・お客様との約束の実行
8.迅速・正確な情報開示と誠実な対応
9.危機の際の対応

社会に対して

1.法と社会常識に則した行動
2.地域社会の安全・安心への配慮
3.地域環境の保全
4.社会貢献
5.反社会的勢力への対応
6.行政との健全な関係の保持

株主・投資家に対して

1.法定情報などの適正な公表
2.経営情報の正確で積極的な開示と信頼の確保
3.強固な経営基盤の確立と永続的な成長
4.インサイダー取引規制の順守
5.会社財産の適切な使用

取引先に対して

1.取引における法令順守
2.取引先へのコンプライアンス順守の要請
3.契約に基づく対等な関係
4.公正な基準と適正な手続き
5.取引先との節度ある関係
6.国際ルールの尊重と現地法令の順守

ダスキングループおよび加盟店等の皆さんに対して

1.契約に基づく対等・公正な関係
2.対話による相互理解
3.安全で安心な品質の保証
4.フランチャイズ加盟店・加盟希望者に対する正確な情報提供

ダスキと私たち(社員に対して)

1.人権の尊重
2.公正な評価と処遇
3.性別による役割分担意識の排除
4.自律と責任ある行動
5.部門間協働の実践
6.法令・ルールに基づく判断・行動
7.会社情報の適正な管理
8.上司への速やかな報告
9.職場環境の維持
10.公私混同の禁止
11.ハラスメントの排除

会社の経営の基本方針

当社グループは創業時より、企業理念である「祈りの経営」のもと、単に利益を追求することにとどまらず、世の中の人に喜ばれる「喜びのタネまき」を実践してまいりました。今後も、「世界一 ひとにやさしいダスキン」を目指した取り組みで、地域の人々と喜びを分かち合い、物も心も豊かな暮らしに貢献することを通じて、継続的な企業価値の向上を実現してまいります。

長期ビジョン **ONE DUSKIN** の概要

ONLY ONE ～理念を共有するフランチャイズチェーン～

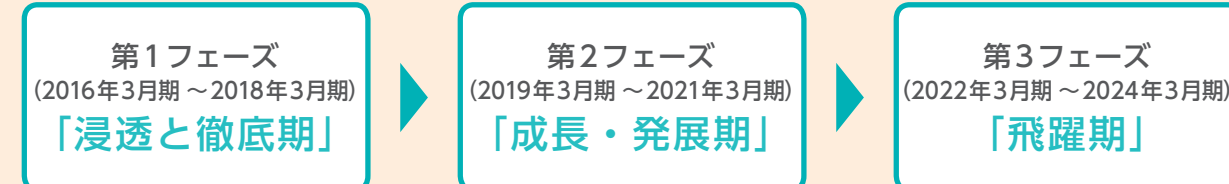
人と人が繋がり、安心して笑顔で暮らせる街を作り出す唯一の企業グループを目指します。

NUMBER ONE ～信頼を積み重ねた地域ナンバーワンのフランチャイズ加盟店～

街で最も頼れる存在であるために、お客様の要望に先回りした提案を行うことを使命といたします。

ALL FOR ONE ～すべての事業・サービスが一つになってご要望にお応えする～

お客様に最高のサービスをお届けするためにグループが一丸となってお客様の役に立つ存在となることを目指します。



中期経営方針2015 (2016年3月期～2018年3月期)

「ONE DUSKIN」を目指す第1フェーズとなる2016年3月期～2018年3月期は、業績を再び成長軌道へ乗せることに主眼を置いた取り組みに注力いたします。

事業モデル構築

当社とフランチャイズ加盟店がお客様情報を共有・活用できる仕組みを構築します。

構造改革

生産・物流・調達および情報システムなどのコスト構造を見直し、利益体質の改善に注力します。

新たな成長

新たな事業の開発に注力するとともに、クリーン・ケアおよびミスタードーナツの海外展開を拡大します。

コーポレートガバナンス強化

公正で透明性の高い経営を目指すという考え方に加え、成長戦略の一環として強化を図ります。

CSR活動の考え方(重点テーマ)

長期ビジョン「ONE DUSKIN」を実現するために、「安全・安心・品質」「人材」「環境」「地域・社会貢献」を重点テーマに取り組んでいきます。

安全・安心・品質

消費者・お客様に信頼される企業を目指して、品質方針に則り、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供するため、徹底した管理体制の構築・実践に取り組んでいます。

人 材

サービスの基本は「人」です。お客様に「やさしさ」という価値を感じていただくためには、技と知識に心がともなうことが必要です。この考えのもと、ダスキンではさまざまな教育や研修を通じて「人づくり」を進めています。

環 境

環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

地域・社会貢献

企業であると同時に、その地域社会の一員でもあります。お客様の暮らす街や地域でもっとお役に立ちたい。ダスキンは「喜びのタネをまこう」という理念のもとこれからも地域社会に貢献できる企業としてさまざまな活動に取り組んでいきます。

重点分野		KPI(Key Performance Indicators)目標	
安全・安心・品質	KPI目標	すべての提供商品において、導入直後の重大不具合発生0件を継続します。	
	設定意図	前中期経営方針では新商品導入直後の不具合発生をなくすことに取り組んできたことから、その対象範囲を広げつつ活動を継続します。	
人 材	多様な人材の登用・活躍の推進	KPI目標	エリアマネジャー含む女性管理職比率(ダスキン単体) 2014年度末4.8%を2020年度末に15.2%にします。
		設定意図	女性の活躍推進は日本企業において共通の課題であり、ダスキンにおいても、性別を問わず登用することが企業成長には不可欠であるという考えに基づいています。
	人材育成	KPI目標	一人当たりの年間研修時間(ダスキン単体) 2014年度13時間/人を継続して、育成に対する投資を行います。
		設定意図	一人ひとりの社員が自らの能力を最大限に発揮することこそダスキンの発展につながるという理念のもと、きめ細かな教育研修プログラムを用意して「人づくり」を進めます。
環境	KPI目標	グループGHG(温室効果ガス)排出量 2017年度末までに2014年度を基準として3%削減します。	
	設定意図	事業部単位の数値目標から、グループおよび加盟店等のGHG(温室効果ガス)排出量を集計・管理する体制を整備するとともに、年1%削減宣言から進めます。	
地域・社会貢献	KPI目標	クリーンアップマイタウン延べ参加人数 2006年からの延べ人数22万名を2017年度末までに30万名以上とします。 2015年度から2017年度までの3ヵ年目標 教員向け学校掃除セミナー受講者2,000名・75教育委員会 出前授業キレイのタネまき参加児童数16万2,000名・1,620校	
	設定意図	社会貢献活動が活発な当社グループにおいては、さまざまな活動を通じて社会貢献への意識を向上させる活動を継続します。	

お客様の声を活かすために

お客様から寄せられる声は、社会情勢の変化を反映しています。
ダスキンは、そんなお客様の声を取り入れ、持続的成長につなげたいと考えています。
コールセンターに寄せられた声が、運営や商品の改良・改善に活かされています。



ダスキンの数字

24時間以内に電話、48時間以内に訪問

お客様から寄せられる声には、地域拠点の担当者からご連絡をするべき内容のものもあります。地域の担当者は原則として、24時間以内にお客様にお電話し、48時間以内にお客様のもとを訪問することとしています。迅速な対応で、お客様の声に応えています。

お客様の声は大切な宝物

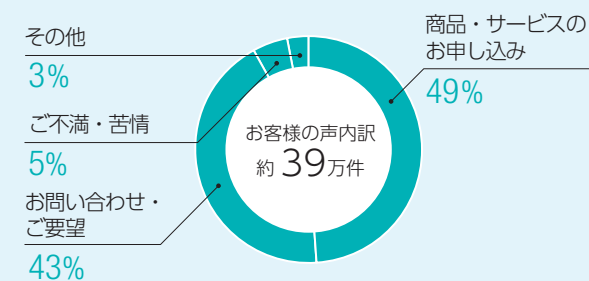
「ダスキンコールセンター」と、「ミスタードーナツお客さまセンター」。ともに、商品やサービスについてのお客様のご意見やご要望をお聞きしています。

お電話の1件1件に、貴重なご意見をいただけることに感謝の気持ちを持って対応し、ご質問に対して明快な返答ができるように心がけています。できるだけお客様をお待たせしないように、日ごとや時間帯ごとにかかってくる電話の数を予測し、人員体制を柔軟に変更できるようにしています。

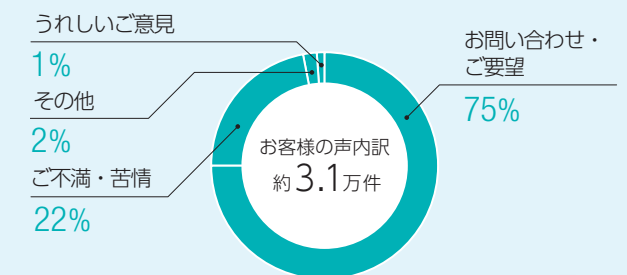
こうしてお客様からいただく声は、ダスキンにとっての大切な宝物です。

こうした宝物から、少しでもヒントを得て、もっとお客様のお役に立てるようにしたい。オペレーターが正確に入力したお客様とのやりとりをもとに、お客様が今、どんなことを求めているのかを各事業部門の担当者がタイムリーに把握できるようになっています。そして、より良い商品やサービスへ。ダスキンの未来を支えるのは、ほかでもなく、お客様の声なのです。

ダスキン コールセンター



ミスタードーナツ お客さまセンター



お客様の声をかたちに

ダスキンの商品を土日や夜間にも

クリーン・ケア開発本部 組織開発部 おざき ひろかず 尾崎 紘和

「土日や夜間にも商品を届けてほしい。」そんな声が多く寄せられるようになりました。

ダスキンは創業以来、お客様のもとを訪問し、手渡しで商品をお届けするスタイルを貫いてきました。真心もって商品をお渡しし、ご返却の際には使い心地などのご意見をお聞きしたいと考えているからです。

しかし、共働きや単身世帯の増加という社会情勢の変化とともに、ダスキン自身も変わることが必要になってきました。そこで全国展開をスタートしたのが、「ポスト返却サービス」です。担当者がお客様のご自宅のポストに商品をお届けし、返却はお客様のご都合に合わせて郵便ポストへ。日中不在でも気軽にレンタルを利用していただくことができます。

お客様のご要望を積極的に取り入れ、ダスキンは成長していきます。



お客様の声をかたちに

安心してドーナツを楽しんでほしい

ミスタードーナツ事業本部 商品開発部 なかさお ゆか 中棹 由香

「アレルギーを気にしないでドーナツを食べたい。」お客さまセンターや、全国各地にダスキンの社長やスタッフがおもむいてご意見を伺う「ミスドファンミーティング」で、そうした声を多くいただいていた。

そこで、小麦や乳、卵などのアレルギー特定原材料を使わない「ふかふか焼きドーナツ[※]」を、ダスキンの品質や安全の厳しい基準をクリアした専用工場生産し、全国1,300店舗で販売をスタートしました。米粉やタピオカを使って、やさしい甘さや、しっとりした食感を出しているのがポイントです。

アレルギーをお持ちの方は、外食するお店を選ぶときの制限が多いと思います。ミスタードーナツを選択肢に加えていただくことで、お客様のお悩みの解消に少しでもお役に立ちたいと考えています。

※特定原材料に準ずるものとして、「りんご」を使用しています。



技に心がともなった人材を育てるために

お客様一人ひとりにとって最高の商品・サービスを提供していきたい。

そんなダスキンの思いを実現するためには、商品・サービスをお手渡しする人材の育成がとても大事だと考えています。今回は、ダスキンの事業の柱であるクリーン・ケアグループとフードグループの人材育成の取り組みをご紹介します。



お客様のお困り事を最優先

お客様のお役に立つことを追求して信頼関係を構築した結果、ダスキンのマットをレンタルしたいといったご相談を頻繁に受けるようになりました。この体験を支店やエリアで共有して、お客様のお困り事を最優先に考えるスタッフを一人でも多く増やしていきたいと思います。

ダスキンの三津屋北支店 営業 **北浜 悠樹**

衛生管理のプロフェッショナルを目指して

お客様の事業に最適な衛生環境づくりをマネジメントするハイジーンマスター。飲食店では厨房内の汚れを測定器で数値化し、冷蔵庫の温度管理など20項目をチェック。現状の把握と問題点の改善、改善効果の維持に役立つ調査報告書を作成し、衛生リスク予防のアドバイスを行っています。

研修施設のダスキンスクールおよび各地域研修センターで、衛生管理の知識を基礎から徹底的に学びます。ロールプレイングを何度も繰り返し、お客様の店舗診断にも講師が同行して、実践的なノウハウを身につけます。

例えば、害虫にお悩みのお客様には、「厨房内に段ボールを放置すると、害虫の発生源になりやすいので、撤去しましょう」と助言するなど、お客様の衛生状況に合わせた提案が行える人材を育成しています。



事業部別研修 ダストコントロール

- 免許取得研修
 - ・支店長免許取得研修
 - ・営業部長免許取得研修
 - ・業務担当免許取得研修 ほか

- 職位別研修
 - ・エリアマネジャー基本研修
 - ・エリアマネジャースキルアップ研修

事業部別研修 ケアサービス

- ライセンス取得研修
 - ・サービスマスター基本アカデミー(17日間)
 - ・ターミックス基本アカデミー(14日間)ほか
 - ・トゥルグリーン基本アカデミー(16日間)ほか
 - ・メリーメイド基本アカデミーコース(7日間)

- ライセンス更新研修
 - ・各事業3年ごとに受講(更新)

ダスキンの数字

ダスキンは、清掃サービスや害虫駆除など、さまざまな分野のプロフェッショナルを育成しています。その研修時間は年間34,268時間。一人当たりだと、13.2時間にもなります。

クリーン・ケア **34,268** 時間
(1人当たり13.2時間)

ミスタードーナツ **49,146** 時間
(1人当たり13.6時間)



笑顔あふれる店舗づくりを目指して

お客様に「楽しい、居心地の良いお店」と感じていただくには、店舗のスタッフが楽しく、いきいきと働けることが大切です。「もっとお店を良くしたい」という声がスタッフ一人ひとりから活発に出てくる雰囲気を作り、お客様にもスタッフにも笑顔があふれる店舗を目指していきたいと考えています。

ミスタードーナツ 川崎母子口ショップ 副店主 **木下 和哉**

ダスキンの数字

ミスタードーナツの店主のライセンスは、2年ごとに更新しなければなりません。緊張感を持って、お客様のためにスキルを磨き続けないと、免許を更新することができないのです。

ライセンス **2** 年更新

理想の店舗づくりをするために

ミスタードーナツでは、店主になるために、厳しい試験を乗り越えてライセンスを取得することが必要です。新規加盟の場合は、49日間のカリキュラムで、経営理念やショップ運営基準を習得します。店主のライセンスを習得する16日間のカリキュラムでは、ドーナツの作り方を基礎から学び直すとともに、全国から集まった仲間とディスカッションを繰り返しながら、店舗運営のノウハウを徹底的に身につけます。

終盤の店舗運営実習が一番の難関。仲間と役割分担し、分刻みのスケジュールを立てて臨みます。接客の様子などを録画し、お互いの良い点や反省すべき点を指摘し合い、店主になる心構えを磨いていきます。



事業部別研修

ミスタードーナツ

- ライセンス取得研修
 - ・アカデミー(新規)コース(49日間)
 - ・アカデミーコース(16日間)
 - ・免許証更新コース
 - ・運営担当者コース
 - ・キャディットマネジャーコース
 - ・シフトマネジャー認定講習会

- 職位別研修
 - ・代表者変更研修会
 - ・直営店主研修
 - ・本部スタッフ研修
 - ・エリアマネジャー研修 ほか

地球温暖化防止のために

ダスキンの主な事業は、モップやマットのレンタルと、フード事業のミスタードーナツ。
ダストコントロール事業を支える生産事業所の一つ、道央中央工場では、
モップやマットを再生加工するために使用するボイラー燃料に、
ミスタードーナツでドーナツを揚げたオイルを活用する取り組みを行っています。
私たちは、これからもオールダスキンの環境問題に向き合っていきます。



ドーナツオイルの活用

ダスキンが創業からずっと大切にしてきたのは、循環型レンタルシステム。モップやマットなどの商品を定期的に回収し、生産事業所できれいに生まれ変わらせてから、またお客様にお届けしてご利用いただいています。

ダスキン道央中央工場では、北海道の広いエリアのレンタル商品を回収して再生加工しています。商品を洗濯し、乾燥させる工程では、ある一定量の燃料が必要。そこで取り組みを開始したのが、従来の燃料のほかに、同じダスキンの事業であるミスタードーナツで使用したオイルを利用するというものでした。

生産事業所とミスタードーナツ。ダスキンの異なる事業同士のコラボレーションによって、地球温暖化の原因であるCO₂の排出削減となる化石燃料の使用抑制につなげることができました。



ダスキンプロダクト北海道
道央中央工場 製造部長
おいかわ とおる
笹川 透

ダスキンの数字

道央中央工場で使う燃料のうち、ミスタードーナツのオイルの割合は実に25%を占めます。
この取り組みのために専用のボイラーを導入しています。

ミスタードーナツオイルの
活用度

25%

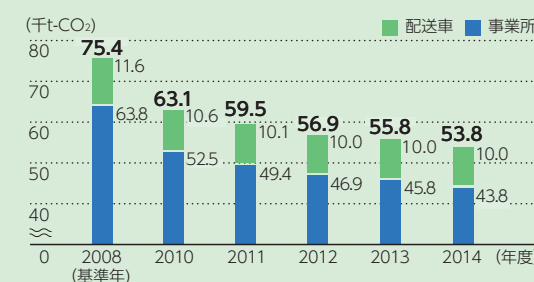
●生産事業所での取り組み

CO₂排出量の削減

生産事業所では、省エネ設備の導入や既存設備の定期メンテナンス、設備運転の効率化、節電などの取り組みにより、エネルギーロスの削減に努めています。

商品の配送では、ルートの見直しにより輸送効率の改善を図り、CO₂排出量の削減につなげています。また、ドライバーは日頃の運転でのエコドライブに取り組んでいます。急発進や急停止の抑制、速度超過の防止が安全運転にもつながっています。

▶生産事業所(全国)でのCO₂排出量^{※1}

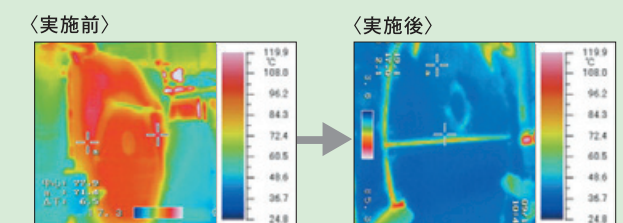


※1 電力のCO₂排出量換算には電気事業連合会の2008年度の係数を使用しています。
※2 スギのCO₂吸収量は、約14kg-CO₂/本・1年間です。(約1.17kg/本・月) (出典：環境省・林野庁「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」)

省エネルギー化の推進

●放熱ロスの見える化

設備の放熱ロスがエネルギー使用量の増加につながることから、乾燥設備や配管などの温度を定期的に確認し、放熱ロスの有無を点検しています。サーモグラフィなどを使うことにより、設備や配管などの保温状態を「見える化」し、一定温度以上の箇所には断熱材を取り付けて、熱の放出を抑える保温の実施に取り組んでいます。



乾燥機ドア部の保温効果

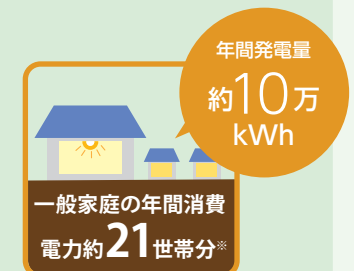
●太陽光発電システムの導入

地球温暖化や資源、エネルギーなどの環境問題への対策として注目が集まる再生可能エネルギーの導入に取り組んでいます。

研修施設であるダスキンスクールの壁面ガラスの一部に太陽光発電パネルを採用し、2010年から発電をスタートしました。2013年には大阪中央工場で太陽光発電システムを導入し、約350枚のモジュールを設置して、最大出力100kW規模の発電を行っています。



大阪中央工場屋上に設置された350枚のモジュール



※家庭一世帯あたりの全消費電力量4,734kWh/年
(出典：一般財団法人省エネルギーセンター「待機時消費電力調査報告書」)

掃除の力で子どもの力を伸ばすために

教室が散らかっていても何とも思わない子どもたち。

そんな子どもたちへの掃除の指導方法に悩む教員の皆様。

創業以来、掃除のことをずっと考えてきたダスキンが、教育現場で掃除教育に関するお手伝いをしています。

子どもたちに掃除の大切さを伝えたい

事業の中核である「掃除」を通じて社会にお役立ちできる会社でありたい。そんな願いを込めて、ダスキンでは暮らしの快適化生活研究所が中心となって2000年から、学校教育現場でのさまざまな活動が無償でサポートしています。

ダスキンの学校教育支援活動は、学校掃除に関する指導方法を学んでいただく「教員向けセミナー」、子どもたちに掃除への興味・関心を持ってもらう「出前授業」、「掃除教育のカリキュラム作成のサポート」の3本柱で構成されています。これらのすべてに関わる「マスター」や、主に出張授業を担当する「サポーター」を育成しています。

マスターとして、日々の業務をこなしながらサポーターの育成にも取り組み、加盟店やエリアマネージャーとともに地元と信頼関係を構築できる人材を中心に、地域社会にとってもっと身近な存在になることを目指し、取り組みを進めています。



地域に活動の輪を広げていきたい

子どもたちの素直さや、教員の方々の真剣さにお応えするため、念入りに準備して、わかりやすく伝えるように心がけています。地域本部の推進担当として、私の体験を地域内の拠点に伝え、地元で根ざした取り組みの輪を広げていきたいです。

ダスキン クリーン・ケアグループ 九州地域本部
坂井 梨恵
学校掃除マスター第1期生

ダスキンの数字

ダスキンから派遣される講師が学校掃除マスターの認定を受けるには、最低でも3年間の厳しい研修が必要です。マスターの候補生は、日常の業務をこなしながら、暮らしの快適化生活研究所の指導員とともに何度もリハーサルを繰り返し、教育現場のニーズにしっかりと応えるためのスキルを磨いています。

研修期間
3年間

子どもたちの力を伸ばすための教員向けセミナー

1日15分を学校での掃除の時間と考えると、45分授業の換算で、年間約66コマ分にもなります。この時間を通じて「掃除の大切さを考え、理解してほしい」「身の回りを整える習慣を身につけてほしい」といった思いが教員の皆様にあるものの、「どう指導すればいいかわからない」という声がよく聞かれます。

教員向けセミナーでは、学校掃除マスターの説明をもとに、掃除用具の使い方などを体験します。教員の皆様が子どものように目を輝かせて、説明に聞き入ります。そしてグループに分かれて、ディスカッションしながら掃除指導計画を立てます。今度は、参加者の皆様がプロの教員の顔に。実践的なプログラムで、日々の掃除指導に役立てていただいています。



掃除に興味や関心を持ってもらう出前授業

教室にはホコリが目立ち、床にはゴミが散らかっている。こんな光景も残念ながら少なくありません。

キレイのタネまき教室（出張授業）は、ホコリや汚れの正体を教えて「なぜ掃除をしないといけないか」を学び、ぞうきんやホウキなどの正しい使い方を身につける45分間の授業です。授業の後には、「こんなところにもホコリがあった！」と、掃除に無関心だった子どもたちにも大きな変化が。保護者の方からは「家に帰ったら玄関先に子どもが待っていて、学校で教わった掃除の仕方を一生懸命話してくれた」という声も寄せられています。

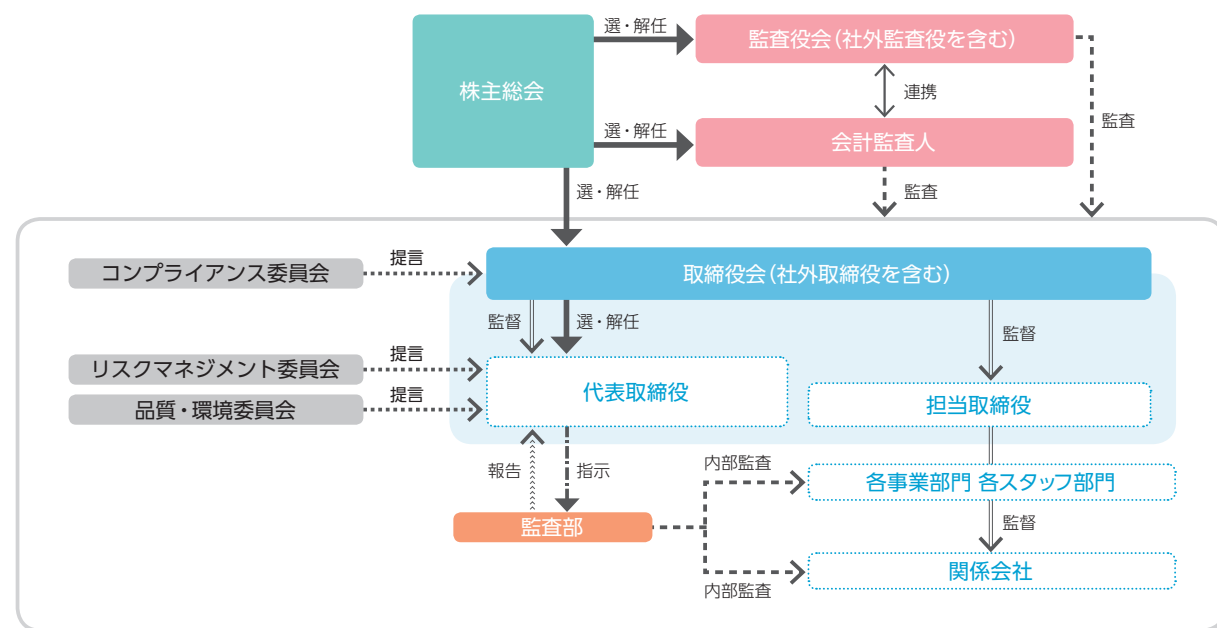
掃除の大切さを教えてあげるのは、大人の役目。子どもたちがやがて大人になり、その子どもたちに掃除の大切さを受け継いでいく。そんな未来を実現したいとダスキンは願っています。



コーポレートガバナンス

ダスキンは、コーポレートガバナンスの強化を経営の最重要事項と捉え、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応できる経営体制を確立するとともに、健全で透明性の高い経営が実現できるよう、体制や組織、システムを整備していきます。

▶コーポレートガバナンス体制図



コーポレートガバナンス体制

監査役設置会社として、業務執行者を兼務する取締役の相互監視と、専門性が高い監査役による経営の監視を行い、企業価値の継続的発展を目指す体制を構築しています。経営環境の変化に対する迅速で的確な経営判断と、健全で効率的な業務執行の両立を実現させています。

取締役会

取締役会は、代表取締役社長を議長として毎月2回開催し、当社グループの経営上の重要な事項についての意思決定を行うとともに、業務執行の監督を行っています。独立役員である社外取締役2名（ともに女性）を含む12名（2015年3月末時点）で構成しており、経営環境の変化などに迅速に対応し、経営責任を明確化するために、取締役の任期を1年としています。社外取締役に、当社と特別な利害関係がなく独立性が高いと判断される人材を招聘しています。2名の社外取締役は、各出身分野における豊富なビジネスキャリアと専門的知見を有しており、経営の透明性、健全性、手続きの公平性を保持する上で多面的視点から有益な助言をいただいています。

監査役会

独立役員である社外監査役3名（うち1名女性）を含む5名の監査役が、当社グループの重要な意思決定のプロセスや業務執行状況を監査しています。監査役は、取締役会をはじめとする重要な会議に出席して意見を述べるほか、監査役会を毎月1回開催して監査方針の決定や監査状況の進捗を確認しています。

社外監査役は、法務面、財務・会計面の専門的見地からのチェックが働くよう、専門家（公認会計士、弁護士）を招聘しています。

コンプライアンス

“Compliance”は「相手の身になって考え、行動すること」と捉え、ダスキンでは一人ひとりがお客様や社会から信頼されるために、ダスキン行動基準を日々の業務で実践しています。

コンプライアンス委員会

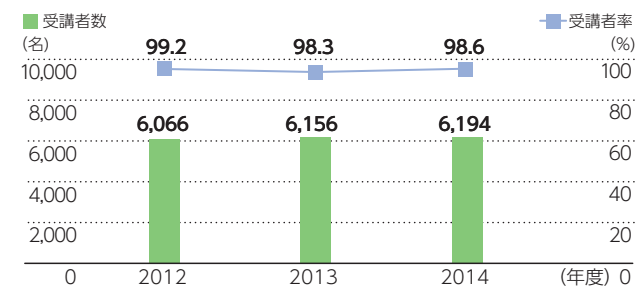
当社グループのコンプライアンス体制の確立、浸透、定着のため、コンプライアンス委員会を設置しています。この委員会は法務・コンプライアンス部担当取締役を中心に、取締役、社外取締役、弁護士、監査役、労働組合委員長で構成され、コンプライアンス上の重要課題や年度計画、教育研修計画の審議を行っています。また、取締役会の諮問機関として、当社のコンプライアンスに関する業務を行っています。

コンプライアンス推進の取り組み

当社グループでは、役員・社員に対する行動基準の周知・徹底に努め、毎年、全役員・全社員を対象として、コンプライアンス研修を実施しています。この研修では、外部の講師を招いて講義を受けるほか、倫理的な判断力を養うケーススタディ研修を行っています。

また2014年度は、モバイル情報端末やソーシャルメディアの普及など、社会情勢の変化を踏まえ、行動基準を一部改訂しました。

▶コンプライアンス研修受講者数・受講率の推移



*受講者：役員・グループ社員（パート社員含む）

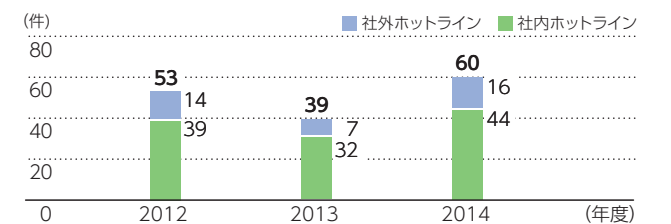


コンプライアンス研修風景

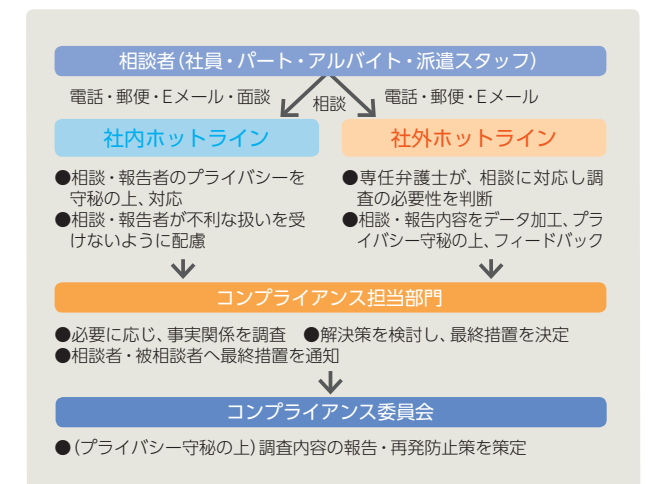
「ホットライン」の設置

「公益通報者保護法」の趣旨に則り、ダスキンでは法務・コンプライアンス部や外部の弁護士事務所に直接通報できる「ホットライン」を運用しています。法令違反や反倫理行為、社内の不正などを見逃さない仕組みを整え、健全で透明性の高い企業風土の醸成を目指しています。通報者のプライバシーを保護し、不利益な扱いを受けないようにしています。

▶ホットライン利用者数の推移



▶ホットラインの流れ



品質保証体制

ダスキンは消費者・お客様に信頼される企業を目指して、品質方針に則り、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供するため、徹底した管理体制の構築・実践に取り組んでいます。

■ダスキン品質方針

『ダスキンは安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービス、そして楽しさをお手渡しします。』

- ① 商品・サービスは全ての段階（研究、開発、購買、製造、流通、お客様のご使用、廃棄）において安全性を最優先します。
- ② 商品・サービスにおいても環境負荷低減を図って参ります。
- ③ 消費者・お客様の声を誠実にお聴きし、商品・サービスに活かします。
- ④ 法令や社内規程等を遵守し、品質保証活動を確実なものとしします。

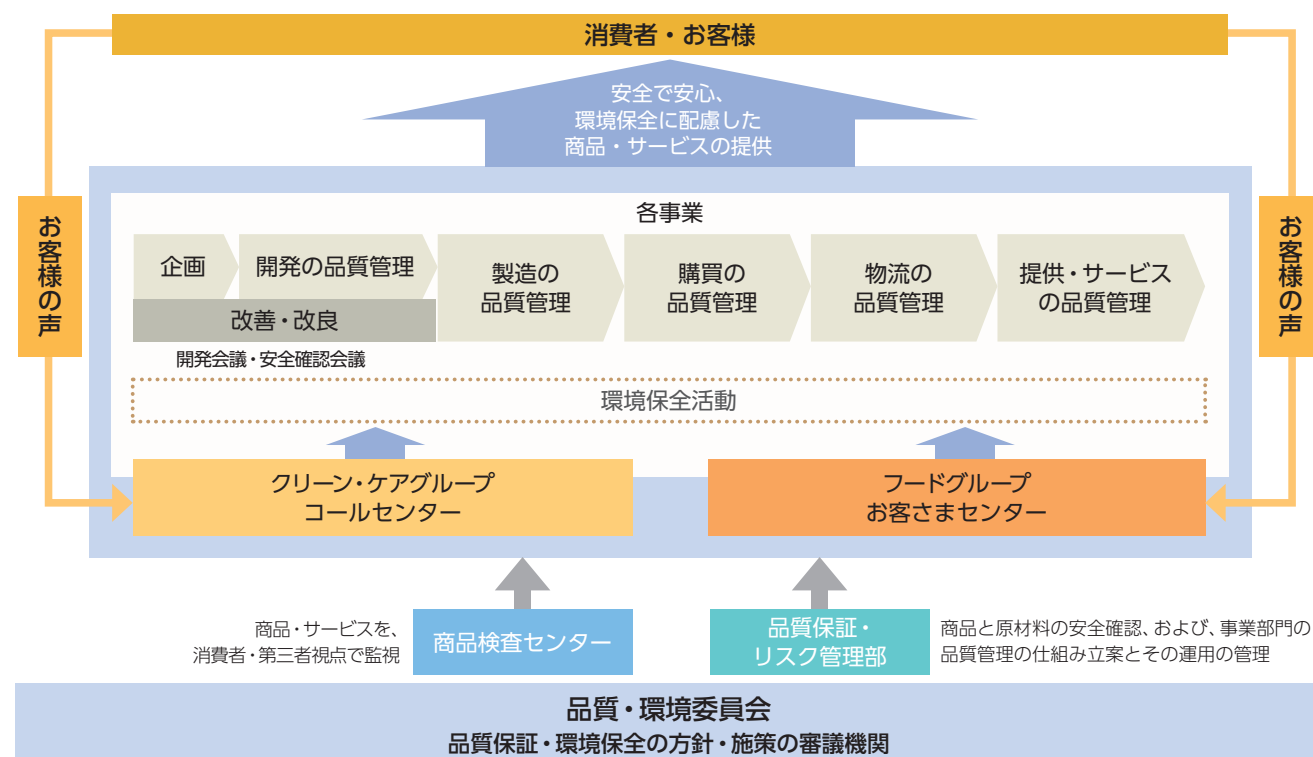
商品の安全・安心の取り組み

お客様に安全で安心な商品をお届けするために、商品の開発から市場導入までの品質について安全確認会議などで審議・改善指示を行うとともに、消費者視点からのチェックを担う社外取締役や社内第三者部門などが参加する開発会議を経て市場導入しています。また、導入後の商品に対しては、定期・不定期に流通品の品質確認を行い、定めた品質の維持に努めています。



食品安全確認会議

▶品質保証体制



ダイバーシティ

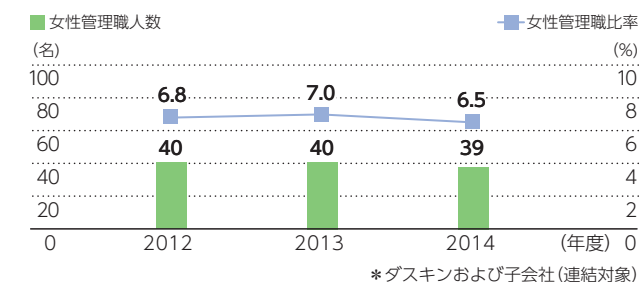
「世界一 ひとにやさしいダスキン」を経営ビジョンに掲げ、新たな文化を創り出し、暮らしを豊かに笑顔あふれる社会を目指すダスキンでは、多様な背景・価値観を持った人材がいきいきと働ける職場づくりを推進しています。

女性の活躍推進

女性の活躍推進は日本企業において共通の課題であり、ダスキンにおいても、性別を問わず登用することが企業成長には不可欠であると考えています。

また、ダスキンの事業は女性のお客様のご利用が多いこ

▶女性管理職人数・比率



とから、女性の立場や目線に立って、より便利で快適な商品・サービスを提供することが重要です。

そこで、女性の感性を活かした商品開発や広告展開などを積極的に行うほか、地域本部では、加盟店指導を行う女性のエリアマネジャーの登用も進めています。



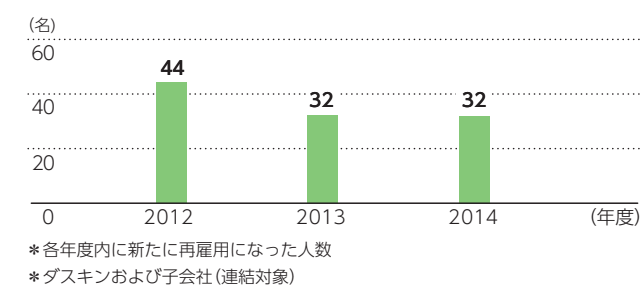
女性エリアマネジャーとして加盟店をサポート

定年退職者の再雇用制度

高齢化が進む日本では、社会保障制度の変更などにより、定年退職後も働く機会を得られるようにすることが求められています。また、労働力不足を補うとともに、社員が長年蓄積した知識や経験を次世代に承継していくことも社会課題となっています。

ダスキンでは、60歳の定年後も、最長で65歳まで再雇用する制度を導入しています。原則として定年時に勤務していた部署での仕事を継続することで、経験を活かし、能力が発揮しやすい環境を整えています。

▶定年退職者の再雇用人数



障がい者雇用の促進

働くことのできる障がい者の方に、それぞれに合った働き方を提供することも、企業の社会的責任だと考えています。

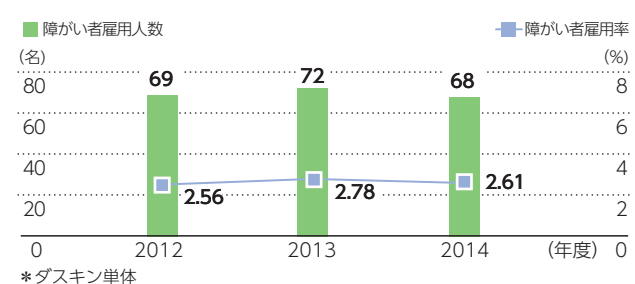
ダスキンは1981年から「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」を通じて、障がい者の方が先進の福祉を学ぶ機会を支援する活動を行っているほか、障がい者の方がいきいきと働くことのできる雇用の場を提供し、定着を図っています。

こうした取り組みが評価され、2014年度「障害者雇用優良事業者等の厚生労働大臣表彰」を受賞しました。これからも障がい者雇用の推進に積極的に取り組み、すべての人が心豊かに暮らせる社会づくりの実現に貢献していきます。



厚生労働大臣表彰の授賞式

▶障がい者雇用人数・率



環境マネジメント

循環型ビジネスであるレンタル事業で創業したダスキンは、生産からご使用後のすべての段階において環境負荷の少ない商品・サービスの設計・開発・選択に取り組んでいます。
創業当時から現在も変わらぬ事業活動の柱として環境経営を推進しています。

■ ダスキン環境方針

私たちダスキンは、環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

① 環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択

原材料の調達から商品の製造、お届け、お客様によるご使用、使い終わった後の回収再生や処分まで、すべての段階に配慮し、安全・安心で環境負荷低減に貢献する商品・サービスを開発し採用します。商品や資材の循環活用を推進し、資源のもつ価値を十分に活用します。

② 環境負荷が少ない工場稼働

省資源で省エネルギーな工場稼働に努めます。廃棄物や環境負荷となる排出を抑制すると共に、排出物のリサイクルや有効活用を推進します。公害や事故を発生させない工場稼働に努めます。

③ 環境負荷が少ない物流と営業・販促活動

ムダのない、効率的な商品流通・物流と営業活動に努めます。車両活用に伴う排ガス汚染の軽減、CO₂排出の削減に取り組めます。環境保全に、より優れた商品・サービスの積極的販売を推進します。

④ 環境負荷が少ないオフィス活動や施設・設備

省資源で省エネルギーなオフィス活動を推進します。グリーン購入により、環境負荷の低い物品の活用を推進します。

⑤ 環境負荷が少ない社会づくりへの貢献

法令や規律を守ると共に、環境保全を推進するための社会施策や要請に積極的に協力し、自らも貢献できる施策を検討し、実践します。

ダスキンの環境宣言

1998年に「環境理念」「環境方針」を制定し、翌1999年からはISO14001の認証取得に向けて活動に取り組みました。
2008年には「環境宣言」を制定し、引き続き全社的な環境への取り組みを進めています。

身近に、未来に、エコのタネまき。

おそうじ用具のレンタルからはじまり、
ものを大切にしてきたダスキンは、
地球の未来を大切にするため、
くりかえし使う・みんなで使う・減らす・捨てない、
これらの視点で、商品・サービスの開発、
生産、お届けから使用後までの
企業活動のすべてを見直し、さらに取り組みを進めます。

「喜びのタネまき」の精神に、エコのタネをのせて。
ダスキンは、身近なところから未来にむかって、
エコロジーを育てていきます。



ダスキンの「4つのエコ」の取り組み

くりかえし使うエコ

モップやマットなどのレンタル商品は、お客様先で使用された後、再商品化し繰り返し活用しています。循環型の事業活動で、お客様先のキレイをサポートしています。

みんなで使うエコ

所有ではなく皆で共有することで、資源を有効活用しています。レントオール/ヘルスレントでは、ベビー用品や旅行用品、介護用品・福祉用具など、お客様の必要ときに必要な分だけご使用いただくレンタル事業を展開しています。

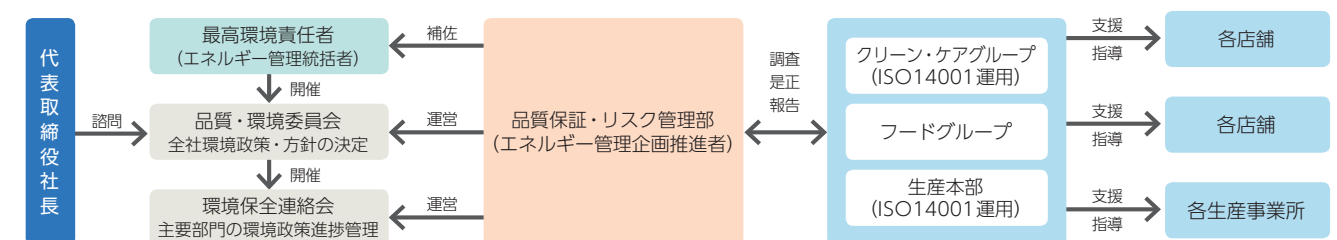
減らすエコ

お掃除サービスや害虫駆除サービスでは、人と環境への負荷ができるだけ少なくなるよう、薬剤と施工法を常に工夫しています。

捨てないエコ

ミスタードーナツでは、1974年より、陶器・ガラス製の食器を使用しています(フードコートのお店などは除く)。できるだけ使い捨て製品の利用を減らすことで、ゴミの排出を抑えています。

環境管理体制



ISO14001の認証取得状況

1999年から、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得に向けて取り組みを開始し、5つの事業で認証を取得しました。その後、2013年にフードグループにおいて認証を返上しましたが、引き続き環境保全活動に取り組んでいます。

初回登録日	登録範囲
2000年3月3日	生産本部、生産事業所
2001年3月30日	クリーン・ケアグループ (ダストコントロール事業：本部/加盟店)
2001年4月27日	クリーン・ケアグループ (ケアサービス事業：本部/加盟店)
2001年7月26日	レントオール事業/ ヘルスレント事業：本部と全拠点

環境教育

新人社員の入社時研修の一つとして、環境に関する初期教育を実施しています。環境問題や、企業における環境取り組みおよび情報開示などについて学び、ダスキンの事業活動を通じてどのようにして環境に貢献していくかを考え、全員で確認しています。

環境に関する意識を高めつつ、環境経営を推進する人材の育成に取り組んでいます。



環境教育研修の実施

地域・社会貢献

ダスキンは、地域社会の一員として、街や地域でこれまで以上にお役に立ちたいと考えています。
「喜びのタネをまこう」という経営理念のもと、
地域社会に貢献できる企業として、さまざまな活動に取り組んでいます。

公益財団法人 ダスキン愛の輪基金

「めい・あい・へるぷ・ゆう」の精神で、「障がいのある方の自立と社会参加」を支援しよう、との願いからダスキンは、1981年の国際障害者年に「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」を設立しました。（2011年12月 公益財団法人に認定。「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」に名称を変更。）

現在、ダスキングループをはじめ約18万名が会員となり、障がいのある方たちと共生する活動を行っています。フード事業のショップでは、レジのそばに「愛の輪基金」の入会パンフレットと募金箱を設置して、一般の方へも広く参加の呼びかけを行っています。



「ダスキン愛の輪基金」
募金箱と入会パンフレット

「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」は、大きく2つの事業を実施しています。

1つ目は、地域社会のリーダーとして貢献したいと願う障がいのある若者を海外に研修派遣する事業です。設立以来、34年間で484名が研修をし、帰国後はその貴重な体験を活かし、大学教授や、自立生活センターの運営、障がい者スポーツのインストラクターなどさまざまな分野で活躍されています。

2つ目は、1999年より実施しているアジア太平洋地域の障がいのある若者を日本へ招き、障がい者福祉を学んでいただく事業です。16年間で115名の研修生が学び、母国でリーダーとして活躍されています。



ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業

クリーンアップマイタウン

「クリーンアップマイタウン」活動は、ダスキンが、「身近に、未来に、エコのタネまき。」という環境宣言のもと全国で行っている地域のゴミ拾い活動です。

一般の方々にご賛同いただき、「一緒に街をキレイにしたい」という願いで行っている活動です。

2014年度には41,795名の方々にご参加いただき、2006年からスタートしたこの活動への参加者は、延べ約22万名となりました。



毎年多くの方にご参加いただく「クリーンアップマイタウン」活動

▶ 2014年活動実績



2014年度は全国で開催されている乳がんの正しい知識を広げる「ピンクリボン」のウォーキングイベントでも活動を行いました。



活動に参加したスタッフ



（特）ダスキンは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるピンクリボン運動を応援しています。

ダスキン生産事業所見学

暮らしの身近にあるエコを実感する場として「生産事業所見学」を実施しています。回収されたモップやマットが洗浄され、再び商品化されるまでの工程を見ていただくことで、モノの大切さや環境保全への取り組みの重要性を学ぶ機会を提供しています。

2014年度は、6,704名の見学者が全国の生産事業所を訪れました。



生産事業所を見学する子どもたち

自然保護の取り組み

富山、石川、福井、岐阜の4県にまたがる白山国立公園は高山植物の宝庫として知られ、固有の生態系が保たれています。

しかし近年、登山者の靴底に付着したオオバコなどの外来植物の種子持ち込みによって在来種である高山植物の生育地が奪われるなど、貴重な生態系への悪影響が問題となっています。この外来植物の種子持ち込み防止の取り組みに、土砂の捕集性と耐久性に優れたダスキンのマットが活用されています。

2007年より、シーズンにはダスキンのマットが登山道などに設置され、マットで捕集した土砂から外来植物の種子が確認されるなど一定の効果が認められています。現在では白山国立公園の登山口や登山道など8カ所に計55枚のダスキンマットを提供し、生態系保護の取り組みに協力しています。



写真提供：環白山保護利用管理協会

スマイルリングプロジェクト

東日本大震災の被災地の皆様に笑顔をお届けしたいという思いから、この活動は始まりました。震災直後に「ミスタードーナツカー」の準備に着手、完成後の2011年10月10日から東北地域を中心に訪問を実施しました。その後、2012年8月からは訪問先を全国各地に広げて活動を続けています。

幼稚園・保育園などを訪問し、キッチン設備を搭載した「ミスタードーナツカー」でのドーナツ製造見学やドーナツデコレーション体験、ミスタードーナツの人気キャラクターポン・デ・ライオンと一緒に「ドーナツたいそう」を踊るプログラムなどをご用意して、子どもたちに楽しいひとときを過ごしていただくイベントを行っています。

▶ 2014年活動実績

ドーナツプレゼント数	ドーナツたいそう参加者
8,266個	約4,600名
ドーナツデコレーション体験参加者	ユニフォーム体験参加者
1,282名	646名

これからも、ドーナツを通じて一人でも多くの子どもたちと笑顔の輪をつないでいきたいと考えています。



全国の子どもたちと交流するスマイルリングプロジェクト